

石川県土木部が発注する営繕工事における
猛暑による作業不能日数の取扱いに係る運用

Q & A

- Q 1. 「著しく乖離する場合」とはどれくらいを指すのか。
- A 1. 基本的に、工事当初に見込んでいた作業不能日数と大きく乖離し、工期を延長しなければ休日作業または時間外業務が必須になってしまうなど適正工期が確保できなくなる場合を指します。
- Q 2. WBGT 値が 31 以上を観測した日に作業を行ってはいけないのか。
- A 2. 作業場の環境を快適に整えるなど、一般的な熱中症対策を行った場合は作業を継続することは可能です。
- Q 3. 一般的な熱中症対策を行い WBGT 値が 31 以上で作業を行った場合、この時間は工期中の作業不能日数を算定する際、算入できないのか。
- A 3. 作業を行った場合、その時間は作業不能日数の対象となりません。
- Q 4. 猛暑を理由に午後の作業を一時中断した。いつ作業環境が安定するか分からなかったので、安全を考慮して午後の作業を中止して引き上げた。この場合 WBGT 値に関わらず半日分を作業不能日数の対象と出来るか。
- A 4. 作業を中止した時間のうち、WBGT 値が 31 を超えた時間のみ算定の対象になります。
- Q 5. 一般的な熱中症対策として、工事現場に WBGT 測定器を設置している場合、測定値を環境省が公表する熱中症予防情報サイトの値の代わりとすることは可能か。
- A 5. 運用のとおり、観測値は環境省が公表する熱中症予防情報サイトの値を原則としていますが、特別な事情がある場合は監督職員との協議のうえ決定することとします。
- Q 6. 土日等元々現場閉所の日で、WBGT 値が 31 を超えた場合、超えた時間を作業不能日数に算入してもよいのか。
- A 6. 算入できません。
- Q 7. 作業を行うかどうか、その時にならないと判断できないのか。

A 7. 環境省の熱中症予防情報サイトには、「今日」・「明日」・「明後日」の3時間ごとの暑さ指数（WBGT）の予測値が提供されています。ただし、この予測値は「猛暑による作業不能日数」の対象になりません。実測値を対象とします。

Q 8. 余裕期間対象工事において、工事の始期および終期の設定にあたっては、作業不能日数を含めて設定すれば良いか。

A 8. 作業不能日数を含めて設定してください。

Q 9. 余裕期間対象工事において、工事の始期および終期を受注者が設定する場合、特記仕様書に記載の作業不能日数の取扱いはどうなるのか。

A 9. 特記仕様書に記載の作業不能日数は、全体工期のうち余裕期間を除いた期間で算定しています。受注者の方で設定した工事の始期から終期の期間で作業不能日数を算定し直してください。

Q 10. 作業不能日数を受注者の方で算定し直す場合、どのように算定すれば良いか。

A 10. 運用に記載の算定例を参考にしてください。算定に必要な過去の WBGT 値については、環境省が公表する熱中症予防情報サイトや建設物価調査会が公表する工期設定のための猛暑日日数確認サイトをご活用ください。